整理番号

D－1－1　　740

標 題 名

稲品種/稲熱病被害調査

著 者 名

発行者名

農林省農務局農産課

発 行 年

昭和１５．３

製作年月

平成３１年３月

寄贈図書
堀　正侃氏

済

昭和十五年三月

稲品種ノ稲熱病被害調査

農林省農務局

植物防疫資料館図書之印

堀

稻品種ノ稻熱病被害調査

一、緒　言……一
二、供用品種及調査方法……二
三、供用品種ノ稻熱病発生状況……四
四、稻熱病菌分生胞子ノ浮游ト頸稻熱病発生トノ関係……五
五、発病部位別被害調査……一〇
六、出穂期別被害調査……二一
七、発病時期別被害調査……三九
八、発病日数ニ関スル調査……四五
九、摘　要……五四

稻品種ノ稻熱病發生ニヨル被害ニ関スル調査

地方農林技師　栗林教衛
農林技手　市川久雄

一、緒言

稻熱病ハ稻ノ生育期間ヲ通ジテ発生シ、其ノ発生スル部位ニヨリテ葉稻熱病、節稻熱病、頸稻熱病、籾稻熱病等ニ區別セラル。本病ハ稻ノ品種ニヨリテ抵抗性ニ著シキ強弱アルノミナラズ、熟期ノ早晩ニヨリテモ発生ニ差異アリ。又同一品種ニテモ氣候、施肥法、栽培法等ノ相違ニヨリ発生ニ軽重ヲ生ジ、発生時期ニ早晩ヲ来スヲ以テ、其ノ発生様相ハ頗ル複雑ナルヲ特徴トス。

稻熱病ノ発生ニヨリテ蒙ル被害程度ニ関シテハ、從來ノ試験研究成績中ニ報告セラレタルモノ尠カラザルモ、孰レモ発病歩合ニヨルカ、発病歩合ト收量トヲ併用シテ綜合的ニ簡單ニ表示セラレタルニ過ギズシテ、未ダ複雑ナル本病ノ発生相ニ應ジテ分析的ニ詳細ニ調査サレシ成績ナシ。実際問題トシテハ、発生圃場ニ臨ミテ立毛ノ肉眼觀察ニヨリ被害程度ヲ迅速ニ推定シ評價シ得ルガ如キ基準ヲ設定スルコトハ、将来極メテ緊要ナル問題トス。

本調査ハ水稻ノ稻熱病中直接收量ニ至大ノ影響ヲ及ボス節稻熱病及頸稻熱病ノ発生ニヨル

被害程度ヲ、品種別ニ分析的ニ調査セシモノニシテ、得タル結果ノ大要ヲ茲ニ報告セントス。

二、供用品種及調査方法

(一)、供用品種

本調査ハ長野縣南安曇郡豊科町ニ設置セル農林省指定長野縣立農事試驗場稻熱病試驗地ニ於テ昭和十四年度ニ栽培セシ左記ノ八品種ヲ供用セリ。

早生種　栃木早生、水稻農林一号、福島糯、陸羽一三二号

中生種　藏内早生二号、陸羽愛國二〇号、坊主王川二一号

晩生種　藏内早生一五七号

(二)、耕種法

苗代ハ揚床ノ水苗代ニシテ、肥料ハ坪當硫酸アムモニア五〇匁、過燐酸石灰六〇匁、硫酸加里一九匁ヲ床締ノ際基肥トシ、六月上旬硫酸アムモニアヲ坪當一〇匁追肥セリ。五月一日播種　坪當三合播トス。本田ノ肥料ハ左記ノ如ク全部基肥トシ、大豆粕及石灰ハ代掻キ三日前ニ、他ノ無機質肥料ハ代掻キ直前ニ施用セリ。

肥料名	反當用量	肥料成分		
		窒素	燐酸	加里
大豆油粕	三〇、〇貫	二、一六〇	〇、三九〇	〇、五四〇
硫酸アムモニア	六、三	一、三二三		
過燐酸石灰	一〇、五		二、〇二六	
硫酸加里	三、九			一、八七二
石灰	一五、〇			
計		三、四八三	二、四一六	二、四一二

移植八六月十五日ニ行ヒ坪當七二株一本植トシ、除草ハ六月下旬、七月中旬、七月下旬ノ三回、九月上旬ニ落水シ、十月五日刈取セリ。

(三)、調査方法

各品種共ニ一基毎ニ其出穂期日及葉稻熱病ノ発生期日ヲ毎日調査シ、之ヲ記入セル小布片ヲ附シ置キ、刈取後ハ約一箇月間室内ニテ乾燥セシメタル後、收穫物ニ就キ発病ノ有無、被害部位及程度等ヲ調査シ、左記ノ如ク六區分セリ。

被害區別番号	被害部位及程度
1	健全ナルモノ（無被害）
2	節ガ侵サレシモノ
3	穂ノ一部ガ侵サレシモノ
4	穂頸ガ侵サレシモノ
5	節及穂ノ一部ガ侵サレシモノ
6	節及穂頸ガ侵サレシモノ

右六區分ノ材料ニ就キテ穂ヲ手扱シ、肉眼ニテ籾及粃ヲ選別シ、各ノ粒数及重量ヲ調査セリ。籾ハ更ニ穏光式手選用籾摺機ヲ用ヒテ籾摺ヲ行ヒ、生米及死米ニ分チテ粒数及重量ヲ調査シ、各ノ歩合及減收歩合ヲ算出セリ。

三、供用品種ノ稲熱病發生狀況

本年ノ夏季ハ降雨量極メテ少ク、日照時数多ク、寡湿ノ天候持続シ稲ノ生育良好ニシテ成熟期促進セシモ、稲熱病菌ノ蕃殖ニハ不適當ナル氣候狀態ニアリタリ。

當試驗地ニ於ケル稲熱病ノ発生狀況ハ軽微ニシテ、葉稲熱病ノ発生ハ少ク、節稲熱病・頸

稻熱病ノ發生ハ例年ニ比シ稍ゝ遲レ、九月上中旬ニ至リ多少增加シ、其發生ハ中位程度トナレリ。供用品種ノ發病狀況ヲ示セバ左表ノ如シ。

第一表　供用品種ノ發病狀況

品種名	葉稻熱病	節稻熱病	頸稻熱病
栃木早生	中	八八・〇%	六五・八%
水稻農林一號	中	一四・三	四九・二
福島糯	無	二・三	一二・八
陸羽一三二號	少	一九・七	三四・四
岐阜早生二二號	少	三一・九	三一・一
陸羽愛國二〇號	中	二三・五	二五・四
坊主王川二一號	少	五・一	五・五
岐阜早生一五七號	少	九・四	九・八

四、稻熱病菌ノ分生胞子浮游狀況ト頸稻熱病發生トノ關係

空氣中ニ於ケル稻熱病菌ノ分生胞子ノ浮游數ノ多少ト頸稻病ノ發生トノ關係ヲ知ランガ爲

二、八月十五日ヨリ九月二十日ニ至ル迄ノ期間毎日分生胞子ノ採集ヲ行フト共ニ、各品種ニ対シ頸稲熱病ノ発生茎数ヲ調査セリ。

(一)、調査方法

空気中ニ浮游スル分生胞子ノ採集ハ、供用品種ヲ栽培セル稲田ノ畦畔二箇所ヲ選定シ、高サ三尺ノ採集台ヲ作リ、其上ニ毎日午前七時ヨリ翌朝七時迄ノ一晝夜間、「グリセリン」膠ヲ塗末セル「スライドグラス」ヲ置キテ分生胞子ヲ採集シ、「カバーグラス」ノ面積十八粍平方ノ面積中ニ落下附着セル分生胞子数ヲ検鏡調査セリ。

(二)、調査成績

第二表　分生胞子浮游状態ト頸稲熱病發生トノ関係

月日		採集胞子数	日別頸稲熱病発生本数								天気	温度	湿度	雨量	風ノ方向	風力	雲量	備考
			水稲農林一号	福島稲	薩摩一三二号	薩摩二二号	薩摩二〇号	坊主主川二一号	藏内早生一五七号	合計								
八月十五日	Ⅰ	○								○	晴	三三・八	五一		北	疾	七	
	Ⅱ	○								○								
	計	○								○								
十六日	Ⅰ	○								○	晴	三三・〇	五六		北西	軟	二	
	Ⅱ	○								○								
	計	○								○								
十七日	Ⅰ	○								○	晴	一九・五	七〇			静	○	
	Ⅱ	○								○								
	計	○								○								
十八日	Ⅰ	○								○	晴	二四・〇	六一		北東	軟	一	
	Ⅱ	○								○								
	計	○								○								
十九日	Ⅰ	一								一	曇	二五・〇	七三			静	九	
	Ⅱ	二								二								
	計	三								三								

二十日	○	○	○								○	曇	二五・○	六五		北	和	九	
二十一日	四六	四一	八七								○	曇	二二・五	九○	三・七	北西	軟	一○	午前七時半頃ヨリ八時半頃迄降雨
二十二日	九	四	一三								○	曇	二六・○	七八		○	静	八	午後四時頃夕立アリ
二十三日	○	二	二								○	晴	二五・○	七三	四・五	北東	軟	五	午後五時頃夕立アリ
二十四日	三	二	五								○	曇	二三・六	八四	六・八	○	静	一○	午前十一時頃ヨリ終日降雨
二十五日	八	二	一○	二	一						三	晴	二六・五	五四	○・九	南	和	二	
二十六日	二	四	六								○	晴	二五・○	七三		○	静	二	
二十七日	一二	一六	二八	三	一						四	晴	二五・○	六九		南西	軟	一	午後五時―六時降雨
二十八日	○	○	○		二						二	晴	二四・五	六八	五・五	北西	軟	三	
二十九日	一	一	二								○	晴	二四・○	六四		東	軟	四	
三十日	二	○	二	五	一	一	一	二			一○	晴	二四・五	六五		東	軟	二	
三十一日	○	三	三								○	晴	二四・○	七二		○	静	一	
九月一日	○	二	二								○	晴	二五・○	六二		北	軟	二	
二日	○	二	二	三			六	三			一二	晴	二四・○	六八		○	静	七	
三日	○	○	○								○	晴	二四・五	六一		○	静	五	
四日	○	○	○	一七	二	一	三	五		一	二九	曇	二五・○	六五		北	和	九	
五日	○	○	○	八四	四	一九	九	二四	五	二	一四七	曇	二五・五	六六		北	軟	八	

月日	採集胞子数			日別穎稻熱病発生本数								天氣	温度	湿度	雨量	風ノ方向	風力	雲量	備考
	Ⅰ	Ⅱ	計	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	銭内早生二二号	陸羽愛国二〇号	坊主川二一号	銭内早生一五七号	合計								
九月六日	〇	一	一		六		四	二六	八		四四	晴	二五・五	六六	北	軟	一		
七日	〇	〇	〇	三		二四	八	一			三六	晴	二五・〇	六九	北	軟	一		
八日	二	一	三	三			七	一二		一四	三六	晴	二八・〇	六九	北西	和	二		午前七時頃時々降雨
九日	一	五	六				四				四	晴	二六・〇	六三	五・〇	〇	静	三	
十日	一一	一八	二九								〇	曇	二六・五	六二		南	疾	一〇	午後二時一〇時時々降雨アリ
十一日	五	七	一二								〇	晴	二四・〇	七二	二・〇	〇	静	一	
十二日	〇	〇	〇	一九八	二一	七〇	二八	三〇	三	一三	三八三	曇	二六・〇	六七		南	軟	八	
十三日	〇	〇	〇								〇	晴	二五・〇	六五		北	和	二	
十四日	〇	二	二	二四五	一七	五六	一五	一四	三	二四	一七四	晴	二五・〇	六五		〇	静	〇	
十五日	〇	〇	〇				一				一	晴	二七・五	四四		南	疾	二	
十六日	〇	〇	〇	一四三	二三	三六	一〇九	三五	七	一六	三六九	曇	二六・〇	六六		南	強	九	
十七日	六	四	一〇								〇	雨	二四・〇	七二	二・九	南	疾	一〇	終日降雨
十八日	〇	〇	〇	二七	六	四九	三五	一九	六	三	一四五	雨	一九・〇	七九	二七・六	北東	和	一〇	午前十時頃降雨止ム
十九日	〇	一	一	一							一	曇	一九・〇	七四		〇	静	一〇	
二十日	一	一	二	三							三	雨	一八・〇	九四		北	軟	一〇	終日降雨

コノ調査結果ヨリ次ノ事ヲ認メ得ベシ。

(1)、本調査期間ノ気象状況ハ、當地方ノ九月トシテハ高温度持続シ且晴天乾燥日多カリシモ、偶然ニ降雨ノ頻繁ナル時期三回アリテ、第一回ハ八月二十一日ヨリ同二十七日迄、第二回九月九日ヨリ同十一日迄、第三回ハ九月十八日ヨリ同二十日迄ナリ。

(2)、空気中ニ於ケル分生胞子ノ浮游数ノ急ニ増加セル時期ニ回アリ。第一回ハ八月二十一日ヨリ同二十七日迄、第二回ハ九月九日ヨリ同十一時迄ニシテ、降水日数ノ多カリシ時期ト一致シ、其中間ノ晴天ニシテ乾燥セル日ニハ分生胞子ノ採集数極メテ少キカ、殆ド採集シ得ズ。

(3)、類稲熱病ハ其発生ガ急ニ増加セル時期ニ回アリ。第一回ハ九月四日ヨリ同八日迄、第二回ハ九月十二日ヨリ同十八日迄ニシテ、コノ時期ハ共ニ、降水日数多ク分生胞子ノ浮游数急ニ増加セシ時期ヨリ稍ヤ遅レテ起リ来リシハ興味アル現象ナリ。

(4)、気象條件中温度及降水日数ト分生胞子ノ浮游数ト類稲熱病ノ発生数トノ間ニハ一定ノ相関関係存スルガ如シ。

以上ノ結果ヨリ稲ノ出穂期　糊熟期頃ニ相當高温度ニテ降水日数多ケレバ、稲熱病菌ハ分生胞子ノ形成旺盛トナリ、空気中ノ浮游数増加シ、之ガ稲ノ穂ニ傳染シ、一定ノ潜伏期間ヲ経テ類稲熱病ノ発生増加スルニ至ルモノヽ如ク推定シ得ラルヽモ、尚回ヲ重ネテ調査ヲ行ヒ実證スルヲ要スベシ。

五、發生部位別被害調査

供用八品種ノ收穫莖ヲ節稍燃病、頸稍燃病ノ發生部位及程度ニヨリテ前記六區分ニ選別シ、其籾、玄米、生米、死米等ノ粒數及重量ヲ調査シ、其歩合及生米ノ減收歩合ヲ算出シタルニ其結果左ノ如シ。

第三表　發生部位別被害調査

(一)、栃木早生

イ、粒數ニ於ケル被害

被害区別	被害調査 茎数	粒数				歩合			
		生米	死米	粃	計	平均	生米	死米	粃	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	三三本	二六三五粒	四四六粒	八四九粒	三九三〇粒	二九・一粒	六七・〇%	一一・三%	二一・七%	一〇〇・〇%
2	六一	三五二三	六四六	二六〇七	六七七六	一一一	五二・〇	九五	三八五	七七・六
3	〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	一六〇	一四二六八	一五一七	七八〇一	三五八四	一四七・四	六〇・五	六・四	三三・一	九〇・三
6	二一	一二八四	一七四	一二三	二六八〇	一二七・六	四七・九	六・五	四五・六	七一・五

四、重量ニ於ケル被害

被害区別	被害調査 茎数	重量			歩合			
		生米	死米	粃	計	生米	死米	粃	健全粒ニ対スル各粒ノ歩合
1	三三本	七七・〇瓦	五六・〇瓦	八二・六瓦	九三・二瓦	六・八%	一〇〇・〇%		
2	六一	二三七・〇	一七・八	一四四・八	八七・七	一三・三	九四・二	八五・二	八三・六
3	〇	—	—	—	—	—	—	—	—
4	〇	—	—	—	—	—	—	—	—
5	一六〇	四二一・九	五七・六	四九五	八八・〇	一二・〇	九四・四	三四・二	六七・六	九八・二
6	二一	三八・三	八・一	四六・四	八二・五	一七・五	八八・五	二八・五	六一・四	八七・三

八、減收歩合

被害区別	生米粒数	重量		生米千粒重量
		粃	生米	
1	%	%	%	瓦
2	(一)二二・四	(一)五・九	(一)一六・四	二二・六
3				
4				
5	(一)九・七	(一)五・六	(一)三・八	二二・七
6	(一)二八・五	(一)一一・五	(一)一二・七	二二・五

(二)、水稲農林一號

イ、粒数ニ於ケル被害

被害區別	調査	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	四七二本	二五七五五粒	一七三六粒	七〇三一粒	三四五三二粒	七三・一粒	七四六%	五・〇%	二〇・四%	一〇〇・〇%
2	七二	四二九〇	三四八	一四二六	六〇六四	八四・二	七〇・八	五・七	二三・五	九四・九
3	一六六	九〇八六	八一〇	四六二七	一四五二三	八七・五	六二・六	五・六	三一・八	八三・九
4	二八〇	五五六〇	六八六	一一八八三	一八三九	六四・七	三〇・七	三・八	六五・五	四一・二
5	四五	二六〇七	二一九	一三五九	四一八五	九三・〇	六二・三	五・二	三二・五	八三・五
6	四六	二二五〇	三六三	一七九四	四四〇七	九五・八	五一・一	八・二	四〇・七	六八・四

ロ、重量ニ於ケル被害

被害區別	調査	重量 粒	重量 粃	重量 計	歩合 粒	歩合 粃	健全粒ニ対スル各粒ノ歩合	生米重量	全重量ニ対スル生米歩合	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	四七二本	六〇一・〇亙	六六・六亙	六六七・六亙	九〇・〇%	一〇・〇%	一〇〇・〇%	四六六・一亙	六九・八%	一〇〇・〇%
2	七二	一〇〇・九	一二・〇	一一二・九	八九・四	一〇・六	九九・三	七八・一	六九・二	九九・一
3	一六六	二一三・五	三三・三	二四六・八	八六・五	一三・五	九六・一	一六四・六	六六・七	九五・六
4	二八〇	一三〇・七	九三・一	二二三・八	五八・四	四一・六	六四・九	九四・九	四二・四	六〇・七
5	四五	六〇・〇	一〇・五	七〇・五	八五・一	一四・九	九四・六	四五・九	六五・一	九三・三
6	四六	五三・五	一三・三	六六・八	八〇・一	一九・九	八九・〇	三八・九	五八・二	八三・四

ハ、減收歩合

被害區別	生米粒数	重量 粒	重量 生米	生米千粒重量
1	(一)%	(一)%	(一)%	一亙 一八・三
2	(一)五・一	(一)〇・七	(一)〇・九	一八・一
3	(一)一六・一	(一)三・九	(一)四・四	一八・〇
4	(一)五八・八	(一)三五・一	(一)三九・三	一七・〇
5	(一)一六・五	(一)五・四	(一)六・七	一七・七
6	(一)三一・六	(一)一一・〇	(一)一六・六	一七・一

(三)、福島縣

イ、粒數ニ於ケル被害

被害區別	調査莖數		粒數 生米	粒數 死米	粒數 秕	粒數 計	粒數 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 秕	健全生米ニ對スル各生米歩合
1	五五八	本	五三六八	三〇六五	七六四四	六三九七	一二·六	八三·一	四·八	一二·一	一〇〇·〇
2	一二		一四九	七八	二四八	一七四五	一三·六	八一·三	四·五	一四·二	九七·八
3	七八		六七〇七	九六七	一九〇四	九五七八	一三·八	七〇·〇	一〇·一	一九·九	八四·二
4	三		六九	一五	三二	三一	一〇·三	二二·二	四·八	七三·〇	三六·七
5	三		二七	五八	五三	三八	一〇·八	六六·六	一七·二	一六·二	八〇·一
6	〇		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

ロ、重量ニ於ケル被害

被害區別	調査莖數		重量 秕	重量 計	歩合 秕	歩合 健全秕ニ對スル各秕ノ歩合	全重量ニ對スル生米歩合	健全生米ニ對スル各生米歩合
1	五五八	本	一五〇七·九	五一七·一五九六	九六·七	一〇〇·〇	七六·〇	一〇〇·〇
2	一二		四〇·〇	一、九	九五·五	九八·八	三一·一	九七·六
3	七八		二〇二·四	一六、九	九二·三	九五·四	一九·三	六八·一	八九·六
4	三		四·六	二·三	九二·三	七·七	一·五	二一·七	八八·九
5	三		六·八	〇·三	九六·七	九九·一	四·八	六七·六	
6	〇		〇	〇	〇	〇	〇	〇	

ハ、減收歩合

被害區別	生米粒數	%	重量 秕	%	重量 生米	%	生米千粒重量	至
1								
2	(一)	二·二	(一)	一·二	(一)	二·四	二二·二	二二·六
3	(一)	一五·八	(一)	四·六	(一)	一〇·四	二二·三	
4	(一)	七三·三	(一)	三一·〇	(一)	七一·四	二二·〇	
5	(一)	一九·九	(一)	〇·九	(一)	一一·一	二二·〇	
6								

(四)、陸羽一三二號

イ、粒数ニ於ケル被害

被害區別	調査基数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	四一二本	二九〇八五粒	三六二粒	一三六〇五粒	四六三〇一粒	一一二・四粒	六二・八%	七・八%	二九・四%	一〇〇・〇%
2	七七	五〇〇七	六七三	二九六八	八六四八	一一二・三	五七・九	七・八	三四・三	九二・三
3	一二六	八一六〇	一二一二	五七四二	一五一一五	一二〇・〇	五四・〇	八・〇	三八・〇	八六・〇
4	六〇	一四四二	四四七	四二七九	六一六八	一〇二・八	二三・四	七・二	六九・四	三七・三
5	四一	二六三三	二八一	一八三九	四七五三	一一五・九	五五・四	五・九	三八・七	八八・二
6	二九	六四四	一一五	二一二六	二八八五	九九・五	二二・三	四・〇	七三・七	三五・五

ロ、重量ニ於ケル被害

被害區別	調査基数	重量 籾	重量 粃	重量 計	歩合 籾	歩合 粃	健全籾ニ対スル各籾ノ歩合	生米重量	全重量ニ対スル生米歩合	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	四一二本	七三九・二瓦	八二・一瓦	八二一・三瓦	九〇・〇%	一〇・〇%	一〇〇・〇%	五六五・六%	六八・九%	一〇〇・〇%
2	七七	一二四・〇	一六・〇	一四〇・〇	八八・六	一一・四	九八・四	九五・七	六六・九	九七・一
3	一二六	二〇五・〇	三三・七	二三八・七	八五・九	一四・一	九五・四	一五三・八	六四・四	九三・五
4	六〇	三六・六	二六・一	六二・七	五八・四	四一・六	六四・九	二三・九	三八・一	五五・三
5	四一	六三・五	一一・四	七四・九	八四・八	一五・二	九四・二	四八・七	六五・〇	九四・三
6	二九	一四・九	一四七	二九・六	五〇・三	四九・七	五五・九	一〇・九	三六・八	五三・四

八、減收歩合

被害區別	生米粒数	重量 籾	重量 生米	生米千粒重量
1	%	%	%	一九・五瓦
2	(一)七・七	(一)一・六	(一)二・九	一九・一
3	(一)一四・〇	(一)四・六	(一)六・五	一八・八
4	(一)六二・七	(一)三五・一	(一)四四・七	一七・〇
5	(一)一一・八	(一)五・八	(一)五・七	一八・三
6	(一)六四・五	(一)四四・一	(一)四六・六	一六・二

(五)、畿内早生二二號

イ、粒数ニ於ケル被害

被害區別	調査茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	三五二本	二八五九二粒	二三四六粒	八九五六粒	三九八九四粒	一一三、三粒	七一、七%	五、九%	二二、四%	一〇〇、〇%
2	一五七	一一二一四	一一七一	五四〇四	一七七八九	一一三、三	六三、〇	六、六	三〇、四	八七、九
3	九九	七三二八	九〇三	三五七四	一一八〇五	一一九、二	六二、一	七、六	三〇、三	八六、六
4	五二	八六五	三五二	四九六四	六一八一	一一八、九	一四、〇	五、七	八〇、三	一九、五
5	四〇	二一七四	三五四	一八四八	四三七六	一〇九、四	四九、七	八、一	四二、二	六九、三
6	三九	一〇九四	三六六	二七三二	四一九二	一〇七、五	二六、一	八、七	六五、二	三六、四

ロ、重量ニ於ケル被害

被害區別	調査茎数	重量 粒	重量 粃	重量 計	歩合 粒	歩合 粃	健全粒ニ対スル各粒ノ歩合	生米重量	全重量ニ対スル生米歩合	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	三五二本	七四九、三瓦	五二、〇瓦	八〇一、三瓦	九三、五%	六、五%	一〇〇、〇%	五八一、二瓦	七二、五%	一〇〇、〇%
2	一五七	二九四、一	二八、七	三二二、八	九一、一	八、九	九七、四	二二六、四	七〇、一	九六、七
3	九九	一九三、九	二四五	二一八、四	八八、八	一一、二	九五、〇	一四七、四	六七、五	九三、一
4	五二	三二、九	三二、〇	六四、九	五〇、七	四九、三	五四、二	二一、一	三二、五	四四、八
5	四〇	五九、八	一三、二	七三、〇	八一、九	一八、一	八七、六	四四、五	六一、〇	八四、一
6	三九	三〇、一	二一、一	五一、二	五八、八	四一、二	六二、九	一九、五	三八、一	五二、六

ハ、減收歩合

被害區別	生米粒数	重量 粒	重量 生米	生米千粒重量
1	(一)一二、一%	(一)二、六%	(一)三、三%	二〇、四瓦
2	(一)一三、四	(一)五、〇	(一)六、九	二〇、〇
3	(一)八〇、五	(一)四五、八	(一)五五、二	一八、〇
4	(一)三〇、七	(一)一二、四	(一)一五、九	一九、五
5	(一)六三、六	(一)三七、一	(一)四七、四	一八、二

(六) 陸羽愛國二〇號

イ、粒數ニ於ケル被害

被害區別	調査莖數	粒數					歩合				
		生米	死米	籾計	平均		生米	死米	籾	健全生米ニ對スル各生米歩合	
1	三八八本	三五八五二粒	三三二五粒	七〇五〇粒	一〇四一粒		六四・〇%	八・二%	二七・八%	一〇〇・〇%	
2	一一三	七〇五〇	一〇三五	三四五九	一五四四	一四九	六一・一	九・〇	二九九	九五・三	
3	九〇	五五六六	七七六	三九九七	一〇三九	一〇二	五二・八	七・五	三八・七	八四・一	
4	三六	四五五	六三	三二八二	三八〇〇	一〇五六	一二・〇	一・七	八六三	一八・八	
5	三三	一九一〇	四〇一	一五六七	三八七八	一二四九	四九・三	一〇・三	四〇・四	七七・〇	
6	一二	〇	三三	六五八	六七八	五六五	〇・〇	三・二	九六八	〇・〇	

ロ、重量ニ於ケル被害

被害區別	調査莖數	重量			歩合		健全粒ニ對スル各粒ノ歩合	生米重量	全重量ニ對スル生米歩合	健全生米ニ對スル各生米歩合	
		籾	籾	計	籾	籾					
1	三八八本	七三四九瓦	七九七瓦	八〇四六瓦	九〇一%	九九一%	一〇〇・〇%	五五〇・二瓦	六八・四%	一〇〇・〇%	
2	一一三	一九八・〇	三四・四	三三・四	八五・二	一四・八	九四六	一四八・四	六二・九	九三・四	
3	九〇	一五九・三	二三・四	一八二・七	八七・二	一二・八	九六・八	一二五・八	六三・四	九七・七	
4	三六	一五・三	二九・三	四四・六	三四・三	六五・七	三八・一	九・九	二二・二	五八・三	
5	三三	五四・四	一二・〇	六六・四	八一・九	一八・一	九〇・九	三七・四	五六・三	八二・三	
6	一二	〇・四	六・五	六・九	五・八	九四・二	六・四	〇	〇・〇	〇・〇	

ハ、減收歩合

被害區別	生米粒數	重量		生米千粒重量
		籾	生米	
1	%	%	%	瓦
2	(一) 四・七	(一) 五・四	(一) 六・六	二一・六
3	(一) 一五・九	(一) 三・二	(一) 七・三	二一・三
4	(一) 八一・二	(一) 六一・九	(一) 六七・五	二〇・四
5	(一) 三三・〇	(一) 九・一	(一) 一七・七	二〇・六
6	(一) 一〇〇・〇	(一) 九三・六	(一) 一〇〇・〇	一

(七)、坊主玉川二一號

イ、粒数ニ於ケル被害

被害区別	1	2	3	4	5	6
調査茎数	五二四 本	三〇	三一	一	〇	〇
粒数 生米	五一〇五九 粒	三五九六	三一五六	二五		
粒数 死米	一四二四 粒	一八三	一六四	四		
粒数 計	六五六八 粒	五四二	九三六	一四九		
粒数 平均	五九〇四九 粒	四三二一	四三五八	一七八		
歩合 生米	一二、七 %	一四四、〇	一三七、三	一七八、〇		
歩合 死米	八六、五 %	八三、二	七四、二	一四、〇		
歩合 枇	一三、五 %	一二、六	三、八	二、三		
健全生米ニ対スル生米歩合	八五、八 %	八三、七	二二、〇	一六、二		
健全生米ニ対スル生米歩合	一〇〇、〇 %	九六、二	二五、六	一六、二		

ロ、重量ニ於ケル被害

被害区別	1	2	3	4	5	6
調査茎数	五二四 本	三〇	三一	一	〇	〇
重量 籾	一四〇三八 瓦	九七一	公五〇	〇、八		
重量 枇	四一、六 瓦	三、九	八、八	一、〇		
重量 計	一四四五四 瓦	一〇一、〇	九三、八	一一、八		
歩合 籾	九七、一 %	九六、一	九〇、六	二八、六		
歩合 枇	二、九 %	三、九	九、四	七一、四		
健全籾ニ対スル各籾ノ歩合	一〇〇、〇 %	九九、〇	九三、三	二九五		
生米重量	一二四三八 瓦	七九、二	七〇、六	〇、六		
全重量ニ対スル生米歩合	七九、一 %	七八、四	七五、三	二一、四		
健全生米ニ対スル各生米歩合	一〇〇、〇 %	九九、一	九五、二	二七、一		

ハ、減收歩合

被害区別	1	2	3	4	5	6
生米粒数 %		(一)三、八	(一)一四、二	(一)八三、八		
重量 籾 %		(一)一、〇	(一)六、七	(一)七〇、五		
重量 生米 %		(一)〇、九	(一)四、八	(一)七二、九		
生米千粒重量 瓦	二二、五	二二、〇	二二、三			

(八) 畿内早生一五七號

イ. 粒数ニ於ケル被害

被害區別	調査基数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	六一七本	四七一〇七粒	二六九九粒	一三八七五粒	六二六八一粒	一〇一・六粒	七五・二%	四・三%	二〇・五%	一〇〇・〇%
2	五七	三六六九	二六四	一六六三	五五九七	九八・二	六五・六	四・七	二九・七	八七・二
3	四六	二九九一	二〇七	一九三三	五一三一	一一一・五	五八・三	四・〇	三七・七	七七・五
4	一四	二二二	二四	九三九	一一八五	八四・六	一八・七	二・〇	七九・三	二四・九
5	七	三八九	五二	二四六	六八七	九八・一	五六・六	七・六	三五・八	七五・三
6	六	九〇	一三	四四八	五五一	九一・八	一六・三	二・四	八一・三	二一・七

ロ. 重量ニ於ケル被害

被害區別	調査基数	重量 粒数	重量 粃	重量 計	歩合 粒数	歩合 粃	健生粒数ニ対スル各粒歩合	生米重量	全重量ニ対スル生米歩合	健全生米ニ対スル各生米歩合
1	六一七本	一一九九五瓦	八三・五瓦	一二八三・〇瓦	九三・五%	六・五%	一〇〇・〇%	九五八・三瓦	七四・七%	一〇〇・〇%
2	五七	九三・二	一三・四	一〇六・六	八七・四	一二・六	九三・五	七三・〇	六八・五	九一・七
3	四六	七四・五	一一・〇	八五・五	八七・一	一二・九	九三・二	五八・八	六八・八	九二・一
4	一四	五・〇	三・九	八・九	五六・二	四三・八	六〇・一	三・六	四〇・四	五四・一
5	七	九・一	一・七	一〇・八	八四・三	一五・七	九〇・二	六・八	六三・〇	八四・三
6	六	二・〇	六・一	八・一	二四・七	七五・三	二六・四	一・五	一八・五	二四・八

ハ. 減收歩合

被害區別	生米粒数	重量 粒数	重量 生米	生米千粒重量
1	%	%	%	瓦
2	(一) 一二・八	(一) 六・五	(一) 八・三	二〇・五
3	(一) 二二・五	(一) 六・八	(一) 七・九	二〇・〇
4	(一) 七五・一	(一) 三九・九	(一) 四五・九	二〇・三
5	(一) 二四・七	(一) 九・八	(一) 一五・七	一八・〇
6	(一) 七八・三	(一) 七三・六	(一) 七五・二	二〇・〇
				1

第四表　發生部位別生米ノ被害調査

イ、粒數ニ於ケル減收歩合

被害區別 ＼ 品種	栃木早生	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	畿内早生二三号	陸羽愛國二〇号	坊主王川二一号	畿内早生一五七号	平均
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1	二二、四	五、一	二、二	七、七	一二、一	四七	三、八	一二、八	一〇、二
2	一、	一六、一	一五、八	一四、〇	一三、四	一五、九	一四、二	一三、五	一六、〇
3		五八、八	七二、三	六二、七	八〇、五	八一、二	八三、八	七五、一	七三、六
4	一	一六、五	一九、九	一一、八	三〇、七	三三、〇	一	二四、七	一九、五
5	九、七								
6	二八、五	三一、六		六四、五	六三、六	一〇〇、〇	一	七八、三	六一、一

ロ、重量ニ於ケル減收歩合

被害區別 ＼ 品種	栃木早生	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	畿内早生二三号	陸羽愛國二〇号	坊主王川二一号	畿内早生一五七号	平均
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1	一六、四	〇、九	二、四	二、九	三、三	六、六	〇、九	八、三	六、〇
2									
3	一	四、四	一〇、四	六、五	六、九	七、三	四、八	七、九	六、九
4	一	三九、三	七一、四	四四、七	五五、二	六七、五	七二、九	四五、九	五六、七
5	三、八	六、七	一二、一	五、七	一五、九	一七、七	一	一五、七	一〇、九
6	一二、七	一六、六	一	四六、六	四七、四	一〇〇、〇		七五、二	四九、八

ハ、被害區分別生米千粒重量

被害區別 ＼	栃木早生	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	畿内早生二三号	陸羽愛國二〇号	坊主王川二一号	畿内早生一五七号
	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
1	二二、八	一八、三	二二、六	一九、五	二〇、四	二一、六	二二、五	二〇、五
2	二二、六	一八、一	二二、二	一九、一	二〇、〇	二一、三	二二、〇	二〇、〇
3	一	一七、〇	二二、〇	一七、〇	一八、〇	二一、三	一	一八、〇
4	一	一八、〇	二二、三	一八、八	二〇、〇	二一、三	二二、三	二〇、三
5	二二、七	一七、七	二二、〇	一八、三	一九、五	二〇、六	一	二〇、〇
6	二三、五	一七、一	一	一六、二	一八、二	一	一	一

コノ結果ヨリ次ノ事ヲ認メ得ベシ。

(1)、節稍熟病及頸稍熟病ノ單独ニ発生セル場合ニハ、「穂頸ノ侵サレタルモノ」減收歩合最モ多ク、「穂ノ一部侵サレタルモノ」中位ニテ、「節ノ侵サレタルモノ」最モ少シ。

(2)、節稍熟病ト頸稍熟病トノ重複発生セル場合ニハ、「節及穂頸ガ侵サレシモノ」ガ「節及穂ノ一部侵サレシモノ」ニ比シテ減收歩合著シク多シ。

(3)、單独発生ト重複発生ノ場合ハ、「穂ノ一部侵サレシモノ」ハ重複発生ノ方ガ減收歩合多ク、「穂頸ノ侵サレシモノ」ハ各階級ノ被害茎ノ揃ヘル五品種中三品種ハ重複発生ガ減收歩合多ク、他ノ二品種ハ單独発生ガ多シ。

(4)、枋木早生ノ如ク特ニ節稍熟病ニ弱キ品種ハ、「節ノ侵サレシモノ」ノ減收歩合多キ傾向アリ。

(5)、各品種共ニ重複発生ノ被害茎ノ本数少カリシヲ以テ、調査材料ノ不足ニ基ク誤差アルベシ。

(6)、各品種ヲ通ジテ被害區分別ノ生米ノ千粒重量ハ「健全ナルモノ」最モ重ク、被害區ハ減收程度ノ大ナル區程軽ク、発病ニヨリ稔実ヲ阻害サレタルコトヲ示セリ。

(7)、発病歩合ト減收歩合トノ関係ハ、稲品種中早生種ハ発病歩合多キ割合ニ減收歩合大ナラズ、之ニ反シ、晩生種ハ発病歩合少キニ拘ラズ減收歩合多キ傾向アリ。

六、出穂期別被害調査

各品種ノ收穫莖ヲ出穂初期ヨリ五日毎ニ區分シ、被害程度ノ六區分別ニ生米、死米、粃等ノ粒數及歩合ヲ調査シタルニ、其ノ結果左ノ如シ。

第五表　出穂期別被害調査

(一)・坊木早生（出穂期八月三日――八月二〇日）

出穂初メヨリノ日数	被害調査区別	茎数	粒数				歩合		
			生米	死米	粃	計	平均	生米	死米	粃
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日――五日	1	四	六二一	八九	七八	七八八	一九七・〇	七八・八	一一・三	九・九
	2	九	八六五	九六	三一八	一二七九	一四二・一	六七・六	七・五	二四・九
	3	〇								
	4	〇								
	5	五一	五三二七	四八九	二九三七	八七五三	一七一・六	六〇・九	五・六	三三・五
	6	一〇	六九五	一一一	四九四	一三〇〇	一三〇・〇	五三・五	八・五	三八・〇
六日――一〇日	1	一〇	七四〇	一一二	四五〇	一三〇二	一三〇・二	五六・八	八・六	三四・六
	2	二五	一六二九	三〇〇	一三三一	三二六〇	一三〇・四	五〇・〇	九・二	四〇・八
	3	〇								
	4	〇								
	5	五八	五〇五九	五一九	二七七二	八三五〇	一四四・〇	六〇・六	六・二	三三・二
	6	一	四一二	四一	五一三	九六六	一三八・〇	四二・七	四・二	五三・一

二日―一五日							一六日―二〇日						
1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
一五	一四	〇	〇	二〇	四		四	一三	〇	〇	三一	〇	
九六〇	五三五	1	1	一一〇八	一七七		三一四	四九四	1	1	二七七三	1	
二一九	一二六	1	1	一九六	二二		二六	一二四	1	1	三一三	1	
二七五	五四七	1	1	七八四	二一五		四六	四一一	1	1	一三〇八	1	
一四五四	一二〇八	1	1	二〇八八	四一四		三八六	一〇二九	1	1	四三九四	1	
九六・九	八六・三	1	1	一〇四・四	一〇三・五		九六・五	七九・二	1	1	一四一・七	1	
六六・〇	四四・三	1	1	五三・一	四二・八		八一・三	四八・〇	1	1	六三・一	1	
一五・一	一〇・四	1	1	九・四	五・三		六・七	一二・〇	1	1	七・一	1	
一八・九	四五・三	1	1	三七・五	五一・九		一二・〇	四〇・〇	1	1	二九・八	1	

水稻農林一號（出穗期八月九日——八月二三日）

出穗初メ被害調査ヨリノ日数	区別	茎数	粒数					歩合		
			生米	死米	籾	計	平均	生米	死米	籾
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日——五日	1	一二四	八八三〇	五九九	二一二二	一一五五一	九三・二	七六・四	五・二	一八・四
	2	三八	二五八一	一六六	七八四	三五三一	九二・九	七三・一	四・七	二二・二
	3	六六	四五三三	四四四	一六八四	六六六一	一〇〇・九	六八・一	六・七	二五・二
	4	一六	七九四	一二三	五一七	一四三四	八九・六	五五・四	八・六	三六・〇
	5	三六	二一六〇	一八二	一〇三八	三三八〇	九三・九	六三・九	五・四	三〇・七
	6	三三	一七三八	二九六	一二九一	三三二五	一〇〇・七	五二・三	八・九	三八・八
六日——一〇日	1	二八六	一四六九七	一〇五四	三七一三	一九四六四	六八・一	七五・五	五・四	一九・一
	2	三〇	一五二一	一六一	五八六	二二六八	七五・六	六七・一	七・一	二五・八
	3	七八	三六二二	二八三	二三六九	六二七四	八〇・四	五七・七	四・五	三七・八
	4	一八四	三九〇六	四四〇	八一〇八	一二四五四	六七・七	三一・四	三・五	六五・一
	5	九	四四七	三七	三二一	八〇五	八九・四	五五・五	四・六	三九・九
	6	一三	五一二	六七	五〇三	一〇八二	八三・二	四七・三	六・二	四六・五

一一日—一五日	1	六二	二二二八	八三	一一九六	三五〇七	五六・六	六三・五	二・四	三四・一
	2	四	一八八	二一	五六	二六五	六六・三	七一・〇	七・九	二一・一
	3	二二	九三一	八三	五七四	一五八八	七二・二	五八・六	五・二	三六・二
	4	八〇	八六〇	一二三	三二五八	四二四一	五三・〇	二〇・三	二・九	七六・八
	5	〇	—	—	—	—	—	—	—	
	6	〇	—	—	—	—	—	—	—	

（三）福島糯（出穂期八月五日—八月二八日）

出穂初メヨリノ日数	被害區別	調査基数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃
一日—五日	1	七三本	九一二四粒	二九五粒	八〇〇粒	一〇二一九粒	一四〇・〇粒	八九・三%	二・九%	七・八%
	2	八	一〇三〇	五七	一三六	一二二三	一五・九	八四・二	四・七	一一・一
	3	二三	二〇五一	二九九	五〇四	二八五四	一二四・一	七一・九	一〇・五	一七・六
	4	〇	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	一	五二	一八	八	七八	七八・〇	六六・七	二三・一	七・一
	6	〇	—	—	—	—	—	—	—	—

出穂初メヨリノ日数	被害區別	調査茎数	粒数						歩合		
				生米	死米	秕	計	平均	生米	死米	秕
六日―一〇日	1	本 二九五	粒 二九九七二	粒 三八九	粒 一八七五	粒 三八七六	粒 三五七二三	粒 一二一・一	% 八三・九	% 五・二	% 一〇・九
	2	四	三八九	一一二	五二二	一三〇・五	七四・五	四・〇	二一・五		
	3	四二	三六一八	五二三	一一二九	五二七〇	九七・〇	六八・七	九・九	二一・四	
	4	一	〇	〇	九七	九七	九七・〇	〇・〇	〇・〇	一〇〇・〇	
	5	二	一六五	三八	四五	二四八	一二四・〇	六六・五	一五・三	一八・二	
	6	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	
一一日―一五日	1	七〇	四五二〇	六九	一五	一三〇	二一四	一〇七・〇	三二・二	七・〇	六〇・八
	2	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	3	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	4	二	六九	一五	一三〇	二一四	一〇七・〇	三二・二	七・〇	六〇・八	
	5	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	6	〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一六日——二〇日						二一日——二五日					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
一一七	〇	〇	一三	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇
八九五五	一	一	一〇三八	一	一	一	一一七	一	一	一	一
五二六	一	一	一四五	一	一	一七	一	一	一	一	一
一八〇六	一	一	二七一	一	一	五四	一	一	一	一	一
一二二八七	一	一	一四五四	一	一	一八八	一	一	一	一	一
九六·五	一	一	一一一·八	一	一	六二·七	一	一	一	一	一
七九·三	一	一	七一·四	一	一	六三·二	一	一	一	一	一
四·七	一	一	一〇·〇	一	一	九·一	一	一	一	一	一
一六·〇	一	一	一八·六	一	一	二八·七	一	一	一	一	一

(四)・陸羽一三二號（出穂期八月一一日―八月二八日）

出穂初メヨリノ日数	被害区別	調査茎数	粒数					歩合		
			生米	死米	粃	計	平均	生米	死米	粃
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日―五日	1	四七	五〇六七	四二一	一六六四	七一五二	一五二・二	七〇・八	五・九	二三・三
	2	一八	一七九五	一五七	七二〇	二六七二	一四八・四	六七・二	五・九	二六・九
	3	二五	二五四一	二五二	一〇五一	三八四四	一五三・八	六六・一	六・六	二七・三
	4	二	四七	三七	一〇八	一九二	九六・〇	二四・五	一九・三	五六・二
	5	三	二六八	三三	一五〇	四五一	一五〇・三	五九・四	七・三	三三・三
	6	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
六日―一〇日	1	二〇六	一六四五二	一三九七	六四八八	二四三三七	一一八・一	六七・六	五・七	二六・七
	2	三四	二四九八	三九九	一二三九	四一三四	一二一・六	六〇・四	九・七	二九・九
	3	五八	三六三一	四九四	二七九九	六九二四	一一九・四	五二・五	七・一	四〇・四
	4	三一	一〇三五	二七五	二一一四	三四二四	一一〇・五	三〇・二	八・〇	六一・八
	5	三一	一九九五	一七七	一三一二	三四八四	一一二・四	五七・三	五・一	三七・六
	6	一八	四八九	八七	一二四二	一八一八	一〇一・〇	二六・九	四・八	六八・三

一一日——一五日						一六日——二〇日					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
一〇三	一八	二六	一九	五	一一	五六	七	一七	八	二	〇
五四三二	五七三	一二五六	三四〇	二一三	一五五	二一三四	一四三	七三二	二〇	一五七	一
一〇四五	九〇	二六八	一〇九	三九	二八	七四八	二七	一九八	二六	三二	一
三三二九	七二二	一〇七九	一四三一	二六二	八八四	二一二四	二八七	八一三	六二六	一一五	一
九八〇六	一三八五	二六〇三	一八八〇	五一四	一〇六七	五〇〇六	四五七	一七四三	六七二	三〇四	一
九五二	七六九	一〇〇一	九九〇	一〇二八	九七〇	八九四	六五三	一〇二五	八四〇	一五二〇	一
五五四	四一四	四八三	一八一	四一四	一四五	四二六	三一三	四二〇	三〇	五一六	一
一〇七	六五	一〇三	五八	七六	二六	一四九	五九	一一四	三九	一〇五	一
三三九	五二一	四一四	七六一	五一〇	八三九	四二四	六二八	四六六	九三一	三七九	一

畿内早生二二號（出穗期八月一五日——八月二九日）

出穗初メ被害調査ヨリノ日数	区別	茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 瘦	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 屑
一日——五日	1	一一本	一二三〇粒	五九粒	一一三粒	一四〇二粒	一二七·五粒	八七·七%	四·二%	八·一%
	2	一四	一一四七	六八	三八九	一六〇四	一一四·六	七一·五	四·二	二四·三
	3	五	五〇三	四六	八三	六三二	一二六·四	七九·六	七·三	一三·一
	4	五	三一三	六六	一七六	五五四	一一〇·八	五六·三	一一·九	三一·八
	5	一	一〇二	五	一四	一二一	一二一·〇	八四·三	四·一	一一·六
	6	一	一七	三三	五四	一〇四	一〇四·〇	一六·四	三一·七	五一·九
六日——一〇日	1	一四七	一三四九七	八六六	二二八九	一六六五二	一一三·三	八一·一	五·二	一三·七
	2	七三	六〇一四	六〇八	三一〇八	九七三〇	一三三·三	六一·八	六·三	三一·九
	3	六九	五四九二	五七六	二二九	八二九七	一二〇·二	六六·二	六·九	二六·九
	4	二五	二六九	一七一	一七五七	二一九七	八七·九	一二·二	七·八	八〇·〇
	5	二二	一二七〇	二二四	九二五	二四一九	一一〇·〇	五二·五	九·三	三八·二
	6	二一	八七六	二二〇	一〇三五	二一三一	一〇一·五	四一·一	一〇·三	四八·六

(六)、陸羽愛國二〇號（出穂期八月一五日——八月二八日）

出穂初メヨリノ日数	被害區別	調査茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 瘢	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 瘢
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日——五日	1	二五	二五二五	一六八	二一九	三四一二	一三六五	七四・〇	四九	二一・一
	2	一六	一五七一	一四四	四九二	二二〇七	一三七・九	七一・二	六五	二二・三
	3	一〇	八六一	五四	三五七	一二七二	一二七・二	六七・七	四二	二八・一
	4	二	八六	一二	一六八	二六六	一三二・〇	三二・三	四五	六三・二
	5	三	三三二	二一	一〇八	四六一	一五三・七	七二・〇	四六	二三・四
	6	〇	1	1	1	1	1	1	1	1

一日——一五日	1	一九四	一三八六五	一四二一	六五五四	三八四〇	一一二・六	六三・五	六五	三〇・〇
	2	七〇	四〇五三	四九五	一九〇七	六四五五	九二・二	六二・八	七七	二九・五
	3	二五	一三三三	二八一	一二六二	二八七六	一一五・〇	四六・三	九・八	四三・九
	4	二二	二八四	一一五	三〇三一	三四三〇	一五五・九	八・三	三・四	八八・三
	5	一七	八〇二	一二五	九〇九	一八三六	一〇・八・〇	四三・七	六・八	四九・五
	6	一七	二〇一	一一三	一六四三	一九五七	一一五・一	一〇・三	五・八	八三・九

出穂初メヨリノ日数	被害區別	調査茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 粃	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃
六日—一〇日	1	二四六本	一七四二二粒	二〇六四粒	七二〇一粒	二六六八七粒	一〇八・五粒	六五・三%	七・七%	二七・〇%
	2	七六	四六一二	七一一	二三五七	七六八〇	一〇一・一	六〇・一	九・三	三〇・六
	3	六七	四一六〇	五九六	三〇七一	七八二七	一一六・八	五三・二	七・六	三九・二
	4	三二	三四七	四五	二九八〇	三三七二	一〇五・四	一〇・三	一・三	八八・四
	5	二七	一五〇三	三二六	一二七二	三一〇一	一一四・九	四八・五	一〇・五	四一・〇
	6	七	〇	二三	二八〇	三〇三	四三・三	〇・〇	七・六	九二・四
一一日—一五日	1	一一七	五九〇五	一〇九三	三二八一	一〇二七九	八七・九	五七・四	一〇・六	三二・〇
	2	二一	八六七	一八〇	六一〇	一六五七	七八・九	五二・三	一〇・九	三六・八
	3	一三	五四五	一二六	五六九	一二四〇	九五・四	四四・〇	一〇・二	四五・八
	4	二	二二	六	一三四	一六二	八一・〇	一三・六	三・七	八二・七
	5	三	七五	五四	一八七	三一六	一〇五・三	二三・七	一七・一	五九・二
	6	五	〇	〇	三七六	三七六	七五・二	〇・〇	〇・〇	一〇〇・〇

(七)　坊主王川二一號（出穂期八月一三日――八月二九日）

出穂初メヨリノ日数	被害調査区別	茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 秕	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 秕
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日――五日	1	八	一二三	一九	九四	一三四六	一六八・三	九一・六	一・四	七・〇
	2	二	二七七	一四	三九	三三〇	一六五・〇	八三・九	四・三	一一・八
	3	二	二〇四	一九	五四	二七七	一三八・五	七三・六	六・九	一九・五
	4	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	5	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	6	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
六日――一〇日	1	一四三	一七七九五	四一四	二一三八	二〇三四七	一四二・三	八七・五	二・〇	一〇・五
	2	一八	二五六四	一〇〇	三二四	二九八八	一六六・〇	八五・八	三・四	一〇・八
	3	一九	二〇一七	一一〇	五九九	二七二六	一四三・五	七四・〇	四・〇	二一・〇
	4	一	二五	四	一四九	一七八	一七八・〇	一四・〇	二・三	八三・七
	5	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	6	〇	1	1	1	1	1	1	1	1

出穂初メヨリノ日数	被害調査区別	基数	粒数						歩合		
			生米	死米	粃	計	平均		生米	死米	粃
一一日―一五日	1	三四八	三〇六三〇	八五五	四〇四九	三五五三四	一〇二一	粒	八六・二	二四	一一・四
	2	九	七四〇	五〇	一五六	九四六	一〇五一	粒	七八・二	五三	一六・五
	3	八	七七九	三一	二一六	一〇二六	一二八二	粒	七五・九	三・〇	二一・一
	4	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一六日―二〇日	1	二五	一四〇一	一三六	二八五	一八二二	七二・九	粒	七六・九	七・五	一五・六
	2	一	一五	一九	二三	五七	五七・〇	粒	二六・三	三三・三	四〇・四
	3	二	一五六	四	六七	二二七	一一三・五	粒	六八・七	一・八	二九・五
	4	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6	〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

（八）

畿内早生一五七號（出穂期（八月一六日―八月二九日））

出穂初メヨリノ日数	被害調査区別	茎数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 籾	粒数 計	粒数 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 籾
		本	粒	粒	粒	粒	粒	%	%	%
一日―五日	1	四〇	三四九五	九六	五七六	四一六七	一〇四・二	八三・九	二・三	一三・八
	2	一	一〇一	〇	二一	一二二	一二・〇	八三・八	〇・〇	一七・七
	3	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	4	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	5	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
	6	〇	1	1	1	1	1	1	1	1
六日―一〇日	1	四八四	三七八一九	二〇八〇	一〇〇七八	四九九七七	一〇三・三	七五・七	四・二	二〇・一
	2	四九	三二八七	二二四	一三九六	四九〇七	一〇〇・一	六七・〇	四・六	二八・四
	3	四三	二九一五	一九六	一八〇六	四九一七	一一四・三	五九・三	四・〇	三六・七
	4	一三	二二二	二四	八八三	一一二九	八六・八	一九・七	二・一	七八・二
	5	七	三八九	五二	二四六	六八七	九八・一	五六・六	七・六	三五・八
	6	六	九〇	一三	四四八	五五一	九一・八	一六・三	二・四	八一・三

出穂初メヨリノ日数	被害区別	基数	粒数 生米	粒数 死米	粒数 秕	粒数 計	歩合 平均	歩合 生米	歩合 死米	歩合 秕
一―五日	1	九三	五七九三	五二三	二二二一	八五三七	九一八	六七九	六一	二六〇
	2	七	二八一	四〇	一二七	五六七	八一〇	四九六	七一	四三三
	3	三	七六	一一	一二七	二一四	七一三	三五五	五一	五九四
	4	一	〇	〇	五六	五六	五六〇	〇〇	〇〇	一〇〇〇
	5	〇	一	一	一	一	一	一	一	一
	6	〇	一	一	一	一	一	一	一	一

第六表　出穂期別生米ノ被害調査

出穂初メヨリノ日数	被害区別	生米粒数歩合										健全生米二対スル各歩合	減収歩合
		早生	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	畿内早生二二号	陸羽愛國二〇号	坊主王川二一号	畿内早生一五七号	平均			
一―五日	1	七八・八 %	七六・四 %	八九・三 %	七〇・八 %	八七・七 %	七四・〇 %	九一・六 %	八三・九 %	八一・六 %		一〇〇・〇 %	一 %
	2	六七・六	七三・一	八四・二	六七・二	七一・五	七一・二	八二・九	八二・八	七五・二		九二・二 (一)	七・八 (一)
	3	一	六八・一	七一・九	六六・一	七九・六	六七・七	七三・六	一	七一・二		八七・三 (一)	一二・七 (一)
	4	一	五五・四	一	二四・五	五六・三	三二・三	一	一	四二・一		五一・六 (一)	四八・四 (一)

	六日——一〇日						一一日——一五日					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
5	五六・八	五〇・〇	—	—	六〇・六	四二・七	六六・〇	四四・三	—	—	五三・一	四二・八
4	七五・五	六七・一	五七・七	三一・四	五五・五	四七・三	六三・五	七一・〇	五八・六	二〇・三	—	—
3	八三・九	七四・五	六八・七	—	六六・五	—	七五・六	—	—	三二・二	—	—
2	六七・六	六〇・四	五二・五	三〇・二	五七・三	二六・九	五五・四	四一・四	四八・三	一八・一	四一・四	一四五
1	八一・一	六一・八	六六・二	一二・二	五二・五	四一・一	六三・五	六二・八	四六・三	八・三	四三・七	一〇・三
2	六五・三	六〇・一	五三・二	一〇・三	四八・五	〇・〇	五七・四	五二・三	四四・〇	一三・六	二三・七	〇・〇
3	八七・五	八五・八	七四・〇	一四・〇	—	—	八六・二	七八・二	七五・九	—	—	—
4	七五・七	六七・〇	五九・三	一九・七	五六・六	一六・三	六七・九	四九・六	三五・五	〇・〇	—	—
5	七四・二	六五・八	六一・七	一六・八	五六・八	二九・一	六六・九	五七・一	五一・四	一五・四	四〇・五	一六・九
6	一〇〇・〇	八八・七	八三・一	二二・六	七六・五	三九・二	一〇〇・〇	八五四	七六・八	二三・〇	六〇・五	二五・三
	1	(一)一一・三	(一)一六・九	(一)七七・四	(一)二三・五	(一)六〇・八	(一)一四・六	(一)二三・二	(一)三九・五	(一)七七・〇	(一)三九・五	(一)七四・七

	1	2	3	4	5	6
5	六〇・九	六三・九	六六・七	五九・四	八四・三	七二・〇
4	五三・五	五二・三	—	—	一六・四	—
3	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—
1	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	四〇・七	五二・三	—	—	一六・四	—
6	四九・九	五〇・一	(一)五〇・一	(一)一一・三	(一)一六・八	(一)一四・六

出穂初メヨリノ日数	被害区別	生米粒数歩合								健全生米二対スル各生米歩合	減收歩合
		坊水早生	水稻農林一号	福島糯	陸羽一三二号	鐵内早生二二号	陸羽愛國二〇号	坊主王川二一号	鐵内早生一五七号	平均	
一六日―二〇日	1	八一・三	1	七九・三	四二・六	1	1	七六・九	1	七〇・〇	一〇〇・〇	
	2	四八・〇	1	1	三一・三	1	1	二六・三	1	三五・二	五〇・二	(一)四九・八
	3	1	1	七一・四	四二・〇	1	1	六八・七	1	六〇・七	八六・七	(一)一三・三
	4	1	1	1	三・〇	1	1	1	1	三・〇	四・三	(一)九五・七
	5	六三・一	1	1	五一・六	1	1	1	1	五七・四	八二・〇	(一)一八・〇
	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二一日―二五日	1	1	1	六二・二	1	1	1	1	1	六二・二	1	1
	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

右ノ結果ヨリ次ノ事ヲ認メ得ベシ。

(1)、各品種ヲ通ジテ、無被害穂茎ニテモ、出穂遅ルヽニ従ヒテ生米歩合減少シ、秕歩合増加ノ傾向アリ。

(2)、稲熱病ノ被害ニヨル生米歩合ノ減少モ、出穂期遅ルヽニ従ヒテ増加ノ傾向アリ。

七、發病時期別被害調査

水稲農林一号(ハ陸羽一三二号、畿内早生二二号、陸羽愛國二〇号ノ四品種ヲ選ビ、頸稲熱病ノ被害穂中ノ「稲ノ一部ガ侵サレシモノ」及「穂頸ガ侵サレシモノ」ニ就キ、出穂初期ヨリ五日毎ニ區分シテ生米、死米、秕等ノ粒数及歩合ヲ調査シタルニ、其結果左ノ如シ。

第七表　發病時期別被害調査

(一)、水稻農林一號

被害區別	出穗ヨリ發病迄ノ日數	調査莖數	粒數 生米	粒數 死米	粒數 籾	粒數 計	歩合 生米	歩合 死米	歩合 籾
穗ノ一部ガ侵サレシモノ	一一日——一五日	二本	九六粒	一六粒	一〇三粒	二一五粒	四四、七%	七、四%	四七、九%
	一六——二〇	七	一四二	一九	三六三	五二四	二七、一	三、六	六九、三
	二一——二五	一〇	四八三	五〇	二九八	八三一	五八、一	六、〇	三五、九
	二六——三〇	六九	三二四二	二五九	二〇三六	五五三七	五八、六	四、七	三六、七
	三一——三五	六四	三三〇九	四〇五	一五二二	五二三六	六三、二	七、七	二九、一
	三五——四〇	一四	九五九	七〇	三〇五	一三三四	七一、九	五、二	二二、九
穗頸ガ侵サレシモノ	一一——二〇	二二	一一九	三一	一二一七	一三六七	八、七	二、三	八九、〇
	一六——二五	三六	二二九	三六	二三七八	二六四三	八、七	一、三	九〇、〇
	二一——二五	六三	八一三	二三七	二九八八	四〇三八	二〇、一	五、九	七四、〇
	二六——三〇	一一九	二七八二	二四六	四〇九九	七一二七	三九、〇	三、五	五七、五
	三一——三五	三九	一五六六	一三〇	二八四	二八八〇	五四、四	四、五	四一、一
	三六——四〇	一	五一	五	一七	七三	六九、九	六、八	二三、三

被害區別	出穗ヨリ発病迄ノ日数	調査基数	粒数				歩合			
			生米	死米	粃	計	生米	死米	粃	
穗ノ一部ガ侵サレシモノ	一一日——一五日	一本	四〇粒	〇粒	四六粒	八六粒	四六・五%	〇・〇%	五三・五%	
	一六——二〇	二二	一一〇二	二八五	一〇五五	二四四二	四五・一	一一・七	四三・二	
	二一——二五	二八	一三二六	二七八	一一三七	二七四一	四八・四	一〇・一	四一・五	
	二六——三〇	四七	二九八一	三八三	二三五八	五七二二	五二・一	六・七	四一・二	
	三一——三五	二二	二〇一六	二一四	八七四	三一〇四	六四・九	六・九	二八・二	
	三六——四〇	六	六九五	五一	二七二	一〇一八	六八・三	五・〇	二六・七	
穗頸ガ侵サレシモノ	六——一〇	一	一九	六	六七	九二	二〇・七	六・五	七二・八	
	一一——一五	五	六九	一	三二七	三九七	一七・四	〇・二	八二・四	
	一六——二〇	一七	五九	九一	一四六九	一六一九	三・六	五・六	九〇・八	
	二一——二五	二〇	四七四	一八八	一四二九	二〇九一	二二・七	九・〇	六八・三	
	二六——三〇	一六	八一一	一四七	九二七	一八八五	四三・〇	七・八	四九・二	
	三一——三五	一	九	一四	六〇	八三	一〇・八	一六・九	七二・三	

被害區別	出穗ヨリ發病迄ノ日數	調査莖數	粒數 生米	粒數 死米	粒數 粃	粒數 計	歩合 生米	歩合 死米	歩合 粃
穗ノ一部ガ侵サレシモノ	六日——一〇日	一本	一三粒	三七粒	四五粒	九五粒	一三・七%	三八・九%	四七・四%
	一一——一五	七	三三七	二八	四三九	八〇四	四一・九	三・五	五四・六
	一六——二〇	二二	一三八七	一八五	九五〇	二五二二	五五・〇	七・三	三七・七
	二一——二五	二五	一七八四	二五七	一〇一六	三〇五七	五八・四	八・四	三三・二
	二六——三〇	四二	三六二九	三八〇	一一〇一	五一一〇	七一・〇	七・四	二一・六
	三一——三五	二	一七七	一六	二三	二一六	八一・九	七・四	一〇・七
穗頸ガ侵サレシモノ	六——一〇	一	〇	六	一一二	一一八	〇・〇	五・一	九四・九
	一一——一五	五	六七	二三	四九〇	五八〇	一一・六	四・〇	八四・四
	一六——二〇	一二	一〇九	二五	一一七一	一三〇五	八・四	一・九	八九・七
	二一——二五	二二	三六二	一五一	一六九三	二二〇六	一六・四	六・八	七六・八
	二六——三〇	一二	六二五	一四九	四四八	一二二二	五一・二	一二・一	三六・七

(四)、陸羽愛國二〇號

被害區別	虫穗ヨリ発病迄ノ日数	調査茎数	粒数				歩合		
			生米	死米	粃	計	生米	死米	粃
穗ノ一部ガ侵サレシモノ	一一日——一五日	一三本	七一二粒	一〇二粒	五九八粒	一四一二粒	五〇・四%	七・二%	四二・四%
	一六——二〇	二六	一四三一	二二七	一三〇六	二九六四	四八・三	七・七	四四・〇
	二一——二五	二二	一二五八	一九九	一一〇二	二五五九	四九・二	七・八	四三・〇
	二六——三〇	二六	一九一〇	二三四	九八四	三一二八	六一・一	七・五	三一・四
	三一——三五	三	二五五	一四	一〇七	三七六	六七・八	三・七	二八・五
穗頸ガ侵サレシモノ	六——一〇	一	六	四	八一	九一	六・六	四・四	八九・〇
	一一——一五	六	二〇	〇	五九八	六一八	三・二	〇・〇	九六・八
	一六——二〇	一八	二七五	二六	一五一四	一八一五	一五・二	一・四	八三・四
	二一——二五	六	七七	六	五九〇	六七三	一一・四	〇・九	八七・七
	二六——三〇	四	一一三	一八	四四二	五七三	一九・七	三・一	七七・二
	三一——三五	一	六四	七	五七	一二八	五〇・〇	五・五	四四・五

第八表　發病時期別生米ノ被害調査

被害區別	出穂ヨリ発病迄ノ日数	品種別生米歩合 水稲農林一号	陸羽一三二号	畿内早生二二号	陸羽愛國二〇号	平均
	日	%	%	%	%	%
穂ノ一部ガ侵サレシモノ	六—一〇	—	—	一三・七	—	一三・七
	一一—一五	四四・七	四六・五	四一・九	五〇・五	四五・九
	一六—二〇	二七・一	四五・一	五五・〇	四八・三	四三・九
	二一—二五	五八・一	四八・四	五八・四	四九・二	五三・五
	二六—三〇	五八・六	五二・一	七一・〇	六一・一	六〇・七
	三一—三五	六三・二	六四・九	八一・九	六七・八	六九・五
	三六—四〇	七一・九	六八・三	—	—	七〇・一
穂頸ガ侵サレシモノ	六—一〇	—	二〇・七	〇・〇	六・六	九・一
	一一—一五	八・七	一七・四	一一・六	三・二	一〇・二
	一六—二〇	八・七	三・六	八・四	一五・二	九・〇
	二一—二五	二〇・一	二二・七	一六・四	一一・四	一七・七
	二六—三〇	三九・〇	四三・〇	五一・二	一九・七	三八・二

三一——三五 三六——四〇	五四・四 六九・九	一〇・八 一	一 一	五〇・〇 一	三八・四 六九・九

右ノ結果ヨリ次ノ事ヲ認メ得ベシ。

(1)、各品種共ニ頴稲熱病ハ出穂後発病時期早キ程生米歩合減少シテ被害多キ傾向アリ。

(2)、発病時期ト生米ノ被害程度ハ品種ニヨリテ多少差異アレド、大体生米歩合ノ五〇%以下ニ低下スル発病時期ハ、「穂ノ一部侵サレシモノ」ニテハ出穂初期ヨリ二十日以内、「穂頴ノ侵サレシモノ」ニ於テハ三十日以内ナリ。

(3)、早期ニ発病セル穂ニ被害多キハ、穂ニ対スル営養物質ノ轉移ガ完全ニ行ハレザル間ニ、発病枯死スルニヨルモノト認メ得ベシ。

八、發病日数ニ関スル調査

水稲農林一號・陸羽一三二號、畿内早生二二號・陸羽愛國二〇號、畿内早生一五七號ノ五品種ヲ供用シ、頴稲熱病ニ就キテ出穂初期ヨリ発病迄ノ日数即チ発病日数ヲ調査シ、更ニ平均発病日数ヲ算出シタルニ、其結果左ノ如シ。

第九表　發病日數ニ關スル調査　其ノ一

(一)　水稻農林一號・陸羽一三二號

品種別	出穗ヨリ被害區別發病立ノ日數	九日	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
水稻農林一號	3	本				○	○	二	○	一	○	六
	4	本				四	○	一八	二	三	九	二二
	5	本				○	○	○	○	○	○	○
	6	本				○	二	○	○	○	○	○
陸羽一三二號	3	本						一	一	八	二	七
	4	本	一		○	○	三	二	四	三	三	四
	5	本							二	一	○	四
	6	本					一	○	○	○	○	二

二〇	〇	〇	〇	〇	四	三	〇	〇
二一	〇	一一	〇	〇	二	四	〇	〇
二二	六	三〇	〇	一	六	六	二	八
二三	一	二	〇	三	九	〇	一	〇
二四	〇	一二	〇	二	八	八	一	四
二五	三	八	三	〇	三	二	〇	〇
二六	二九	五〇	四	五	一四	三	四	六
二七	六	九	〇	〇	三	六	一	一
二八	五	二三	〇	〇	一一	一	一一	三
二九	三	五	一	四	七	一	〇	一
三〇	二六	三二	三	二	一二	五	三	三
三一	四	二	〇	二	四	〇	〇	
三二	一八	一八	七	一一	七	〇	四	
三三	二〇	一二	三	五	三	〇	二	
三四	一〇	七	四	二	三	一	四	

標準偏差	平均	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五
(土)四・七八	二九・八日					一	〇	三	三	七	一二
(土)五・三五	二五・一日					〇	〇	〇	〇	一	〇
(土)四・二九	三三・六日					〇	〇	一七	一	〇	二
(土)五・一七	二九・八日					〇	〇	〇	一	三	三
(土)五・五三	二六・四日							三	〇	三	五
(土)五・〇七	二二・一日									一	〇
(土)五・三二	二七・一日										
(土)三・六六	二四・五日										

(二)、 鐵內早生二二號・陸羽愛國二〇號・鐵內早生一五七號

品種別	比較ヨリ発病迄ノ日数 / 被害區別	日	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
鐵內早生二二號	3	本		一	〇	二	〇	四	一	二	一	六	八	五
	4	本		一	一	〇	一	二	一	二	二	三	一	四
	5	本		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	四
	6	本		一	〇	〇	〇	一	一	〇	一	三	二	四
陸羽愛國二〇號	3	本	〇	〇	一	〇	二	六	四	三	二	一二	五	四
	4	本	一	〇	〇	〇	一	一	四	五	三	六	一	三
	5	本	一	〇	〇	一	〇	〇	二	一	〇	六	二	一
	6	本	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	六	〇	一
鐵內早生一五七號	3	本	〇			一	〇	二	〇	四	〇	〇	六	〇
	4	本	〇				〇	〇	一	二	〇	〇	五	四
	5	本	〇								一	〇	〇	〇
	6	本	〇											

二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五
五	五	六	二	七	一六	一	一八	〇	七	〇	一	一		
一〇	七	〇	三	二	七	一	三	〇	一	〇	〇	〇		
六	二	四	八	一	七	〇	五	〇	〇	一	〇	〇		
五	二	三	三	三	四	〇	六	〇	〇	〇	〇	〇		
三	〇	六	九	四	五	六	一〇	〇	五	一	一	〇	〇	一
二	一	一	二	〇	一	一	二	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇
一	三	一	三	二	一	二	四	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	三	一二	一	八	〇	四	〇	一						
〇	〇	二	〇	〇										
二	一	一	一	一										
二	〇	〇	〇	二										

三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	平均	標準偏差
										二二・三日	(土)五・〇五
										二一・三日	(土)四・四六
										二三・七日	(土)三・〇八
										二一・一日	(土)四・三四
										二二・一日	(土)五・三八
										一九・二日	(土)四・七六
										二一・七日	(土)五・一八
										二〇・一日	(土)三・五四
										二一・七日	(土)四・〇八
										一八・八日	(土)二・八八
										二一・九日	(土)二・四一
										二一・七日	(土)二・四九

第一〇表　發病日數ニ關スル調査　其ノ二

品種名	被害區別																	
	3			4			5			6								
	最短	最長	最多	最短	最長	最多	最短	最長	最多	最短	最長	最多						
水稻農林一號	一五日	四〇日	二八日	一三日	三六日	二六日	二五日	三八日	三八日	一四日	三七日	三二日						
陸羽一三二號	一五	二六	三八	一〇	三四	二四	一六	三六	二八	一四	三〇	二二						
畿內早生二二號	一〇	三二	二八	一〇	三〇	二一	一七	三一	二四	一〇	二八	一八						
陸羽愛國二〇號	一一	二五	一八	九	三二	一八	九	三〇	一八	一五	二七	一五						
畿內早生一五七號	一一	二九	二三	一二	二三	一九	一七	二五	二一	一九	二五	一九						

第一一表　平均發病日數

品種名		被害區別			
		3	4	5	6
水稻農林一號	平均	二九・八日	二五・一日	三三・六日	二九・八日
	標準偏差	(±)四・七	(±)五・三	(±)四・二	(±)五・一

	陸羽一三二號	畿内早生二二號	陸羽愛國二〇號	畿内早生一五七號
平均	二六・四	二二・三	二二・一	二一・七
標準偏差	(±)五・五	(±)五・〇	(±)五・三	(±)四・〇
平均	二二・一	二一・三	一九・二	一八・八
標準偏差	(±)五・〇	(±)四・四	(±)四・七	(±)二・八
平均	二七・一	二三・七	二一・七	二一・九
標準偏差	(±)五・三	(±)三・〇	(±)五・一	(±)二・四
平均	二四・五	二一・一	二〇・一	二一・七
標準偏差	(±)三・六	(±)四・三	(±)三・五	(±)二・四

右ノ結果ヨリ次ノ事ヲ認メ得ベシ。

(1) 穎稻熱病ノ平均発病日数ハ品種ニヨリテ異リ、早生種ハ長ク、中生種ハ中間ノ傾向ヲ示セリ。

(2) 被害區分別ニ穎稻熱病ノ平均発病日数ヲ見レバ、「穂頸ヲ侵サレシモノ」最モ短ク、之ニ亜デ「節及穂頸ガ侵サレシモノ」、「穂ノ一部ガ侵サレシモノ」、「節及穂ノ一部ガ侵サレシモノ」ノ順位ニ延長セリ。

(3) 穎稻熱病ノ單独発生ノ場合ト節稻熱病ト重複発生セル場合トノ発病日数ハ前者ガ後者ヨリ短キ傾向ヲ示セリ。

九、摘要

一、水稻品種ノ早生四種、中生三種、晩生一種、計八種ヲ供用シテ、節稻熱病及穎稻熱病ノ発生ニヨル被害調査ヲ分析的ニ行ヘリ。

二、供用品種ハ各一茎毎ニ出穂期及発病期日ヲ調査シ、之ヲ記入セル布片ノ標識ヲ附セリ。

三、供用品種ハ葉稻熱病発少カリシモ、節稻熱病及穎稻熱病ハ中等程度発生セリ。

四、供用品種ハ刈取後一茎毎ニ被害部位及程度ニヨリテ選別シ、

(1) 健全ナルモノ (2) 節稻熱病ニ侵サレシモノ (3) 穂ノ一部ガ侵サレシモノ

(4) 穂頸ガ侵サレシモノ (5) 節及穂ノ一部ガ侵サレシモノ (6) 節及穂頸ヲ侵サレシモノ

ノ六區分シテ被害調査ヲ行ヘリ。

五、各被害區分ノ穂ハ一穂毎ニ手扱シ、籾、粃、生米、死米等ノ粒数及重量ヲ調査シ、其歩合及「健全ナルモノ」ニ対スル減收歩合ヲ算出比較セリ。

六、被害區分別減收歩合ハ節稻熱病及穎稻熱病ノ單独ニ発生セル場合ニハ、「穂頸ヲ侵サレタルモノ」最モ多ク、之ニ亜デ「穂ノ一部ガ侵サレシモノ」ニテ「節ガ侵サレシモ

ノ」最モ少シ。

七、節稍熟病ト頸稲熱病トノ重複発生ノ場合ハ単独発生ヨリ減収歩大ナル傾向アリ。

八、各品種ヲ通ジテ生米ノ千粒重量ハ「健全ナルモノ」最モ重ク被害區ハ減収歩合ノ大ナルモノ程軽ク、発病ニヨリ籾ノ稔実ガ阻害サレタルコトヲ示セリ。

九、稲品種中早生種ハ発病歩合ノ多キ割合ニ減収歩合大ナラズ、晩生種ハ発病歩合少キニモ拘ハラズ減収歩合大ナル傾向アリ。

一〇、出穂期別被害調査ヲ行ヒシニ、出穂期遅ルニ従ヒテ稲熱病ノ被害大ナリ。

一一、発病期別被害調査ニテハ出穂後発病期日ノ早キモノ程頸稲熱病ノ被害大ナリ。

一二、頸稲熱病ノ発生ニヨリ生米歩合ニ五〇%以上ノ被害ヲ蒙リシハ、「穂ノ一部ガ侵サレシモノ」ニテハ出穂後二十日以内、「穂頸ガ侵サレシモノ」ニ於テハ三十日以内ニ発病セルモノナリ。

一三、頸稲熱病ノ平均発病日数ハ稲ノ品種ニヨリテ異リ、大体早生種ハ長ク、中生種ハ之ニ亜ギ、晩生種ハ、短キ傾向アリ。

一四、被害區分別ノ平均発病日数ハ「穂頸ガ侵サレシモノ」最モ短ク、之ニ亜デ「節及穂頸ガ侵サレシモノ」、「穂ノ一部ガ侵サレシモノ」、「節及穂ノ一部ガ侵サレシモノ」ノ順位ニ延長ス。

一五、頸稲熱病ノ発生時期ニ空気中ニ浮游セル稲熱病菌ノ分生胞子ヲ採集シ、日別ニ頸稲熱

病ノ発生数ヲ調査シタルニ、降水日数多キ時期ニハ分生胞子ノ浮游数ガ急ニ増加シ。
其後数日ヲ経テ頸稲熱病ノ発生数着シク増加スルヲ認メタリ。

東京市瀧野川區中里町二九三
印刷者　中平義次
電駒込　二四一四番

D
1-1
740